

登校、下校について

- 集合場所・通学団（大人数で密集しない、近距離で会話・発声を控える、原則１列）
- 登下校中はマスクを着用する

換気を徹底する

【対策】

- ・可能な限り換気をする。（廊下側と窓側を対角に開ける）
- ・室温を調節しつつ、窓を開け、空気の流れをつくる。
- ・扇風機を活用して、空気の流れをつくる。

多くの人数が密集して集まる場所を設定しない

【対策】

- ◎教室では、机を離し、できる限り距離をとる。
- ◎全児童があつまる集会は実施しない。
- ◎実施する場合も、運動場など密集しない環境を作り、実施する。

近距離での会話や大声での発声を控える

【対策】

- ◎以下の活動は感染防止対策を徹底した上で再開する
 - ・長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等及び近距離で一斉に大きな声で話す活動
 - ・近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏
 - ・近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞活動
 - ・近距離で活動する調理実習
 - ・体育で密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする運動
- ◎体育の授業は可能な限り屋外で実施する
- ◎マスクの着用を徹底する。

手洗いを徹底する

【対策】

- ◎登校したら昇降口にて消毒をする。
- ◎朝の会や放課が終わったら、教師の確認のもと、手洗いをする。その際、手洗い場に密集しないように配慮する。
- ◎給食前には、教師の確認のもと、手洗いと消毒をする。その際、手洗い場に密集しないように配慮する。また、担任による給食当番の健康観察を行う。
- ◎清掃後には、石鹸で手洗いと消毒をする。 体育後にも石鹸で手洗いをする。

健康観察を徹底する

【対策】

- ◎家庭で Google フォームの「健康チェック」により体温や体調を入力してもらう。
- ◎朝の会で、健康観察を行う。検温を忘れた児童については、教室にて検温する。
- ◎体調不調者が出た場合は、教師が保健室まで引率する。
- ◎発熱、体調不良の児童については、すぐに帰宅させる。
- ◎教職員自身も体温や体調を記録し、自己の体調管理をする。